

東海地区協議会 2020年度

監査担当役員 ご挨拶

監査担当役員 高橋剛士

時代の変化が加速する中、日本も令和の時代を迎え、我々青年会議所ができることとはなにか。先人たちが築いてきたJAYCEEたるスピリットは、現在を預かる我々がこれからも未来へとつないでいかなければなりません。それは「変えない」ではなく、変化に応じて「変える」ということでもあります。青年会議所は、自ら課題と向き合い、立案し、議論し、実行できる組織であると思います。今、青年会議所にできることはなにか。

本年度の東海地区協議会は、会長の掲げる「誰もが輝き希望溢れる東海の創造」の実現に向けて運動を展開して参ります。不連続（単年度）の連続といわれる青年会議所運動の中で、継続をしながらステップアップしていくことも、新たな課題に向き合うこともできる。これを強みと捉えて、どんな時代であっても「現在」に必要な組織作りや運動を展開することが必要です。そして、東海地区協議会の重要な担い手として、日本JCとブロック協議会、各地会員会議所との連携を協議会の事業や様々な機会を通じて図り、さらなる発展のために活動して参ります。

結びに、各地会員会議所の皆さまには東海地区協議会への出向者のご輩出をいただきましたこと感謝申し上げますとともに、お預かりする大切なメンバーの成長のために、そして協議会としてこれからにつながる運動を展開するために、監査担当役員としての責務を精一杯果たしていくことをお約束申し上げ挨拶とさせていただきます。